

II 環境影響評価方法書内容

1. 対象事業を実施しようとする者の氏名及び住所
1.1 対象事業を実施しようとする者の名称 1.2 代表者の氏名 1.3 主たる事務所の所在地
2. 対象事業の名称
2.1 対象事業の名称
3. 対象事業の目的及び内容
3.1 対象事業の種類 3.2 対象事業の目的 3.3 対象事業の規模 3.4 対象事業の内容 3.4.1 対象事業実施区域 3.4.2 対象事業実施区域の選定の経緯 3.4.3 環境影響の範囲 3.4.4 工事着手予定 3.4.5 供用開始予定 3.4.6 施設計画 3.4.7 収集計画 3.4.8 取水計画 3.4.9 排水計画 3.4.10 工事計画 3.5 複数案からの絞り込み 3.5.1 配慮書で示した複数案 3.5.2 複数案からの絞り込みの考え方
4. 対象事業実施区域及びその周囲の概況
4.1 自然的状況 4.1.1 気象の状況 4.1.2 大気環境の状況 (1) 大気質の状況 (2) 騒音の状況 (3) 振動の状況 (4) 悪臭の状況 4.1.3 水象の状況 (1) 河川の状況 (2) 湖沼、海域の状況 (3) 地下水の状況 4.1.4 水環境の状況 (1) 水質の状況 (2) 水底の底質の状況 4.1.5 土壌、地盤、地形及び地質の状況 (1) 土壌の状況 (2) 地盤の状況 (3) 地形及び地質の状況 4.1.6 植物及び動物の状況 (1) 植物の状況 (2) 動物の状況 (3) 重要な種の分布及びその生息・生育状況、注目すべき生息地及び重要な群落の分布状況 4.1.7 景観の状況 (1) 眺望点の状況 (2) 景観資源の状況

- 4.1.8 自然との触れ合いの活動の場の状況
- 4.2 社会的状況
 - 4.2.1 人口の状況
 - (1) 人口・世帯数
 - (2) 人口動態
 - 4.2.2 産業の状況
 - (1) 就業人口
 - (2) 出荷額
 - 4.2.3 交通の状況
 - (1) 交通網
 - (2) 自動車交通量
 - 4.2.4 土地利用の状況
 - (1) 土地利用の現況
 - (2) 用途地域の指定状況
 - (3) 住宅の配置の状況
 - 4.2.5 水利用の状況
 - (1) 上水・工業用水・農業用水の利水状況
 - (2) 漁業権の設定状況
 - 4.2.6 環境の保全についての配慮が特に必要な施設等の状況
 - 4.2.7 文化財の状況
 - (1) 指定文化財の状況
 - (2) 埋蔵文化財包蔵地の状況
 - 4.2.8 関係法令等による指定、規制の状況
 - (1) 環境基準の類型指定状況等の状況
 - (2) 公害防止に係る地域の指定状況・規制基準の状況
 - (3) 自然環境保全に係る地域の指定状況
 - (4) 資源等の保護・保存に係る地域の指定状況
 - 4.2.9 その他下水道整備、し尿処理、ごみ処理の状況
 - (1) 下水道整備、し尿処理、ごみ処理の状況
 - 4.2.10 各種関連計画の状況
 - (1) 都市計画
 - (2) 環境基本計画
 - (3) 景観計画
 - (4) その他

5. 計画段階配慮事項に係る調査、予測及び評価結果

- 5.1 大気質
 - 5.1.1 調査
 - 5.1.2 予測
 - 5.1.3 環境配慮内容
 - 5.1.4 評価
- 5.2 景観
 - 5.2.1 調査
 - 5.2.2 予測
 - 5.2.3 環境配慮内容
 - 5.2.4 評価
- 5.3 総合評価
 - 5.3.1 大気質
 - 5.3.2 景観

6. 配慮書についての意見及びそれに対する事業者の見解

- 6.1 配慮書についての住民意見の概要及びそれに対する事業者の見解
- 6.2 配慮書についての知事意見及びそれに対する事業者の見解

7. 対象事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法

- 7.1 環境影響要因の把握及び環境影響評価の項目
 - 7.1.1 環境影響要因の把握
 - 7.1.2 環境影響評価項目の選定及びその選定・非選定理由
- 7.2 調査、予測及び評価の手法
 - 7.2.1 大気質
 - 7.2.2 騒音
 - 7.2.3 振動
 - 7.2.4 低周波音
 - 7.2.5 悪臭
 - 7.2.6 水質
 - 7.2.7 動物
 - 7.2.8 植物
 - 7.2.9 生態系
 - 7.2.10 景観
 - 7.2.11 人と自然との触れ合いの活動の場
 - 7.2.12 廃棄物等
 - 7.2.13 温室効果ガス等

8. 方法書に関する業務の委託先の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地